

本式典、イベントの開催を支えてくださった、参加者の皆様をはじめ、下記ご協賛企業・共催の皆様に、この場をお借りして深く御礼申し上げます。



【ご寄付いただいた皆様】（敬称略・順不同）

◆賛助会員（6個人・4企業・1団体様）

匿名希望（50,000円）・齋藤友護（10,000円）・奥村忠（2,000円）・木下治太夫（2,000円）
小林達治（2,000円）・鶴岡智（2,000円）

石山総合解体（10,000円）・齋藤眼科（10,000円）・新明防水工業（10,000円）

大旭写真製版（10,000円）・福井県眼鏡協会（10,000円）

◆一般寄付（5個人・3企業・31団体様）

ライオンズクラブ国際協会 334-D地区 5R・6R（3,012,000円）

福井フェニックスライオンズクラブ（508,110円）

匿名希望（1,000,000円）・アイビックス（500,000円）・文殊四郎管工商会（50,000円）

リライムカルチャークラブ（6,462円）

山岸善也（100,000円）・吉本義則（50,000円）・鶴岡智（10,000円）・棚橋俊郎（10,000円）

奥村忠（8,000円）

◆募金

福井中央ライオネスクラブ（80,000円）

【グリーンリボン支援キャンペーン】（敬称略・順不同）

◆協賛（2個人・29企業・1団体様）

アイビックス・アイガード・上田五兵衛商店・セントラルメディカル・北興産業・伊藤電機設備
医療サポート・栄月・エバホームケアサービス・鎌仁商店・エイエムオージャパン

エフケーユーテクニカル・チャンピオ辻万・熊谷組・黒川クリーニング社・三和器械・玉木誠

高桑印刷・だるま屋商事・トーショー・ドッドウェルビーエムエス・ナカブシ・平野純薬

福井環境事業・福井県済生会病院・久野好輝・福井銀行・北陸通信工業・北陸銀行

ボイラ整備センター・マルキヤ宣伝社・日本眼鏡技術者協会福井県支部

◆共催

ライオンズクラブ国際協会 334-D地区 5R・6R・福井県眼科医会

◆後援

（公社）日本臓器移植ネットワーク・（公財）日本アイバンク協会・福井県・（公社）福井県看護協会

（公財）福井県臓器移植推進財団・福井新聞社・FBC福井放送・福井テレビ



公益財団法人 福井県アイバンク

〒918-8503 福井市和田中町舟橋 7-1

福井県済生会病院内

電話：0776-23-1315 FAX：0776-23-1316



福井県アイバンク News Letter Vol.3（H26年度）

～ドナー ファミリーの集い® November 2014～

理事長よりご挨拶

福井県アイバンクは、昭和61年に福井県のライオンズクラブの皆様方を中心にして設立して頂き、角膜移植に関わる事業・幹旋業を委嘱され現在は、福井県済生会病院で引き継ぎ運営しております。

平成25年公益財団法人に移行し、更なる公平・公正な運営の必要性が必須となりました。毎年、貴重なご浄財を寄付頂いているライオンズの方々におかれまして、この3年の期間、更なるご支援を賜ってまいりました。本年3年目になり、社会への認知度も向上し、何とか自立運営していけるようになってきたのかなと感じています。

当バンクのコーディネーターはかけがえのないスタッフですが、初めはたった一人で奮闘していましたが、今は院内臓器移植コーディネーター仲間も増え、病院業務と掛け持ちという環境下でも、地域への献眼意識の浸透にも尽力してきました。彼女が平成14年に移植医療に従事するようになって10数年。当初は、福井県でも献眼を希望される方々は年に1・2名の方と伺いました。しかし、それから平成17年には34名の方が献眼を希望されるようになり、人口比では全国2位の献眼率となりました。（中略）

今、社会の風潮として「自分さえよければいい」という風潮が日本でも聞かれることがある中で、福井県においては、先ほどの「ドナーファミリーからの朗読」にもありましたように「自らの事よりも人の事を考える」……まさに福井県の文化を象徴するものであり、「福井っていいな～」と思いました。

しかし、献眼の情報提供を医療施設に依頼している側として申し上げますと、今までお話ししていた方が最期の時を迎えられたからと言って「臓器提供」や「献眼」への意思確認があったのかどうかをすぐに判断してもらい、ご家族に確認するという行為は出来るものはないと思います。やはり予め、自然な状態でそのような意思があった場合の情報提供を家族間で共有してもらおう。そして大事なのは、今の「こぼとさんご」さんではないですが、ご夫婦・家庭内で普段から「臓器提供」「献眼」について話し合っていて「臓器提供」に抵抗のない雰囲気を創っていくのではないかなと思っています。ですので、このような式典においても是非メディアでも大きく報道して頂きたいと思います。新聞等で大きく掲載頂いたときには、必ず反響があります。

それに我々も答えて行かなければならないですし、福井県内の眼科医会の先生方にもご協力頂いています。福井県健康福祉部長の山内さんは、赴任頂いてから「良い事ですね～」という事で福井県のマークを入れて頂いた「献眼用の意思確認フリット」を作成して下さい、「非常に話のしやすい環境」を作ってくださいました。また、同じようにライオンズの皆様方も引き続き強固にご支援をして頂き、とても良い環境で活動させて頂いております。

私共はその与えられた環境の中で、私達のやるべき業務はなにか成果はなにかという事を考え結果を出して行かないといけないと思っております。

ドナー・及びドナーの皆様あってのアイバンクです。これからも引き続き頑張っております。最後に、今日のこの式典の為に協力・ご支援頂いた皆様、ご協賛頂いた多くの企業の皆様本当にありがとうございました。

第3回「ドナーファミリーの集い®」

- 理事長よりご挨拶
- ドナーファミリーの集い
- 目の愛護デー「目の無料検診」
- ご協力の方々

ドナーファミリーの集い (AOSSA 8階県民ホール)

- 日時：平成26年11月4日（月） 13:00～15:30
- 会場：AOSSA 8階 県民ホール
- 参加者
 - ・ドナーファミリー（角膜提供家族） 20組（25名）
 - ・移植者・眼科医師・院内臓器移植コーディネーター
 - ・協賛企業代表者の皆様
 - ・ライオンズクラブ国際協会 334-D 地区の皆様
 - ・福井県地域医療課担当者様 …



第3回目となる「ドナーファミリーの集い」の開催。今回もドナーファミリーや移植者、医療従事者など多くの皆様にご参加頂きました。まず、ご提供頂いた献眼者に対し、多くの方々へ光明を照らして下さった感謝を込めて黙祷を捧げました。次いで、山内健康福祉部長より、厚生労働大臣からの感謝状を、代表のドナーファミリーの方へ授与されました。



山内健康福祉部長からは、「福井県としては、移植医療を推進していくためには、福井県民の皆さんのご理解が必要です。その為、様々な機会を設けて理解促進につなげて移植推進体制の強化につなげていきたい」とご挨拶されました。

ドナーファミリーの皆様には、三浦理事長より感謝状と透明な角膜をイメージし「光輝燦然（こうきさんぜん）理事長自筆」と刻まれたクリスタル・コーニアが贈呈されました。

その後、「まつもとおはなしポケット」の大井泰子さんによる「ドナーファミリー・移植者」の皆さんの声を朗読。献眼者のお元気なところに家族に託された意思のお話や、会話が垣間見え、皆さんの思いを繋げることが出来て、本当に良かったと感じました。



こぼとさんごさんの公演

今回は、ドナーファミリーの代表者と、棚橋理事（福井県済生会病院眼科部長）、篠崎運営委員長でのトークセッションを行いました。移植医として、移植後の患者さんの経過やこれからの移植医療について、また実際に提供を希望されたご家族の思いや心の変化等、お話頂きました。集うご家族同士が、またの再会を誓いながら、懇談される様子を見て、とても心が温かくなる素晴らしい集いとなりました。

目の愛護デー「目の無料検診」 (エルパ エルパホール)

- 日時：平成26年10月18日（土） 14:00～16:30（受付：13:30～16:00）
- 会場：福井市大和田長 32-24 TEL：0776-57-2525
コミュニティーパートナー エルパ2階 エルパホール



●参加スタッフ

- 1: 眼科医
 - 福井大学医学部附属病院
 - 福井赤十字病院
 - 福井県済生会病院
- 2: 視能訓練士
 - 福井済生会病院 1名
 - 福井赤十字病院 1名
- 3: 看護師
 - 福井済生会病院 看護部 1名
 - 福井赤十字病院 看護部 1名



当アイバンクでは、毎年10月10日「目の愛護デー」の記念事業とし、県民の皆様へ、「目の病気に対する理解」と「目の健康への意識」を高めて頂くために、毎年「目の無料検診」を開催しております。今年も、九頭竜ライオンズクラブ様より、毎年イベントにちなんだグッズを作成・ご寄贈頂きました。

今年は、「アイちゃんエコバック」作成頂き大好評でした。また昨年からご協力頂いている「福井眼鏡技術者協会」の皆様が、今年も、メガネの無料洗浄や、メガネ微調などなど、普段眼鏡屋さんまで足を運ばないと出来ないようなサービスの提供をして頂きました。

当日は、昨年を大きく上回り、126名の方々に、検診を受けて頂き、目の大切さを実感頂ける機会となりました。

